

いかわ

議会 だより

No. 138

2019. 4. 15

お母さん今までありがとう。
(井川義務教育学校一期生卒業式)

第1回定例会	2
予算特別委員会（予算審議）	4
予算特別委員会（総括質疑）	6
常任委員会	8
一般質問（4議員登壇）	9
条例改正・陳情等	14
私のひとこと・議会のうごき	16

3 月議会

(会期・3月7日~15日)

平成31年度 新予算決まる

町の総予算 (一般会計) (特別会計)

50億40万円

第1回定例会 3月7日~15日

前年度比較 3.5%減

◆平成31年度 各会計当初予算額

(単位：万円)

会計名	予算額	伸び率%	
一般会計	28億8,000	△ 3.3	
特別会計			
国民健康保険事業	5億2,760	△ 2.1	保険給付者の減
国民健康保険井川町診療所	1億1,460	△ 6.7	医薬品の購入費、人件費減
介護保険事業	8億7,690	△ 0	
介護認定事業	3,080	3.0	電算システム更新
介護サービス事業	2億9,740	△ 15.0	さくら苑改修工事終了による
後期高齢者医療	5,230	1.2	
下水道事業	2億2,080	△ 4.9	事業計画変更手続終了、 支線管渠費減
合計	50億40		
(企業会計)	収益的収入	1億2,339	3.6 給水収益他
	収益的支出	1億1,426	15.5 減価償却費を含む営繕費用他
水道事業	資本的収入	0	△ 100.0
	資本的支出	4,835	△ 58.3 建設改良費及び償還費



空調施設整備される「ゆうゆう」

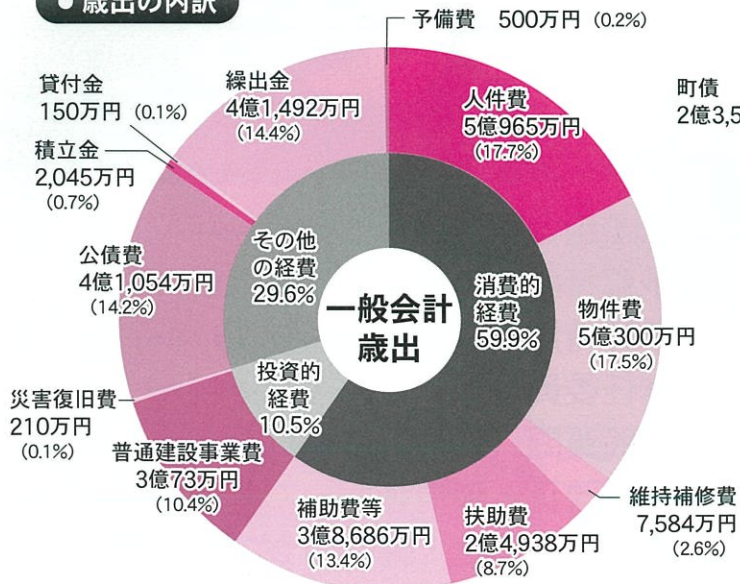
歳出は、普通建設事業費3億(27.8%減)とし、橋梁塗装改修・道路整備、防災拠点9カ所への公衆無線LAN環境整備、ゆうゆうへの空調設置。他に高校生の医療費無料化の実施、学校教室のIT環境整備、旧小学校校舎の利活用に向けた施設改修調査、さくら駅地下通路(内壁含む)改修等の予算内容。

平成31年度一般会計、各特別会計当初予算、専決処分承認1件、条例の制定5件、平成30年度一般会計補正予算、各特別会計補正予算、人事同意4件、諮問1件、選挙1件など、30件を審議し、全て原案どおり可決した。

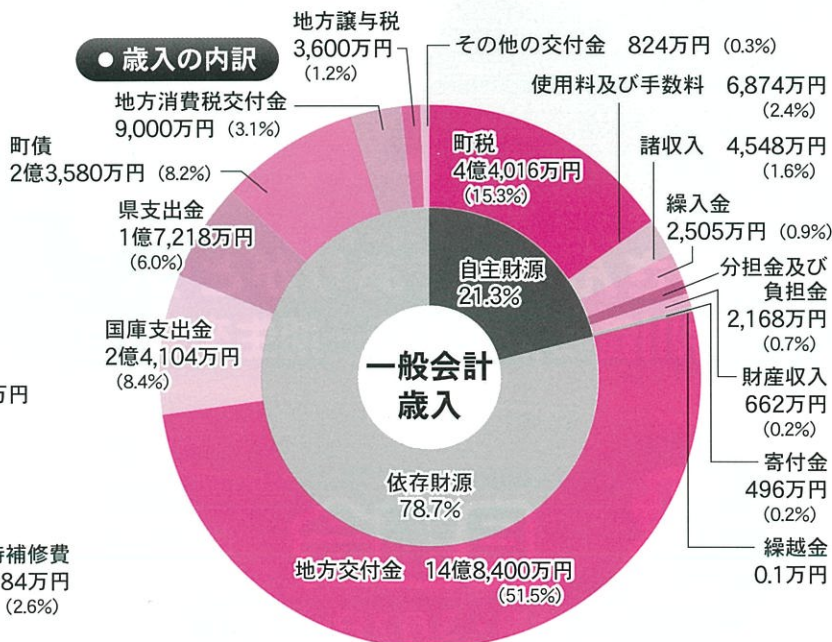
平成31年度 一般会計予算の構成

歳入・歳出 28億8,000万円

● 歳出の内訳



● 歳入の内訳



歳入・歳出 1,270万円を追加

予算総額 33億1,810万円とした。

繰越明許費(平成31年度への繰越事業)

- 例規整備事業
町の規定集の整備費
 - プレミアム付商品券事業
消費税増に対する軽減事業費
 - 地方公共団体情報システム機構交付金
マイナンバー事業費
 - こどもセンター冷房設備設置事業
幼児エリアへの追加設置
 - 県単砂防事業負担金
井内地区の防災事業負担金
 - 防災・安全事業(橋梁改修)
干潟橋改修事業
 - 道路災害復旧事業
大麦・井内線等の復旧事業
- 計 41,515千円

債務負担行為(将来の町の負担約束)

- 中小企業融資資金保証補助金
(平成31年度～平成40年度) …… 1,547千円

地方債変更(町の借入金)

- 役場庁舎改修、過疎地域自立促進、林道開設、日本国花苑整備、町道改良、辺地道路整備、防災・安全、スクールバス購入、道路災害復旧 各々の事業完了による費用変更及び事業不採択等により総額458,600千円→413,300千円に減額変更

◆歳出補正の主な内容

(単位:千円)

事業名	額
安心子育て支援基金積立金 (今後の子育て支援事業資金として)	29,000
湖東厚生病院運営費補助金 (病院運営費補填…約束事項)	27,252
診療所特別会計繰出金 (診療報酬収入減見込みへの対応)	44,020
人件費 (副町長給を含む人件費全体の減)	△13,529
防災・安全事業費 (飛塚線事業不採択による中止等)	△28,782
町道整備事業費 (事業完了による予算額との差額等)	△10,640

※補正の財源は普通地方交付税35,430千円、前年度繰越金29,218千円等の追加と、町債45,301千円等の減額からなる。



さくら駅地下道壁画等更新の計画

【原案可決】特別会計補正予算(平成30年度)

- ◎ 下水道事業特別会計繰入れ
一般会計からの繰入は、2億5,666千円を減額し、1億2,151万8千円以内とする。
- ◎ 国民健康保険事業特別会計
1億1,911万円を追加し、6億1,527万5千円とする。
- ◎ 国民健康保険井川町診療所特別会計
1億1,911万円を減額し、1億1,089万円とする。(一般会計より4,402万円の追加繰入を含む)
- ◎ 国民健康保険事業特別会計
6,999万円を追加し、3億5,699万円とする。
- ◎ 後期高齢者医療特別会計
49万1千円を追加し、4,478万7千円とする。
- ◎ 下水道事業特別会計
1億2,978千円を減額し、2億3,313万5千円とする。
- ◎ 介護保険事業特別会計
1,000万円を追加し、9億1,015万4千円とする。
- ◎ 介護サービス事業特別会計
6,999万円を追加し、3億5,699万円とする。

に公衆無線LAN設置 医療費無料化 ンク立ち上げ

決まる

予算審議

予算特別委員会 委員長 草階 廣治

総務課

問 さくら駅イルミネーション設置委託で、今年度使用したLEDの損傷具合によって100万円、新しく設置するものに100万円。200万円を措置とあるが、毎年修繕に100万円掛かるか。

答 さくら駅イルミネーション設置委託で、今年度使用したLEDの損傷具合によって100万円、新しく設置するものに100万円。200万円を措置とあるが、毎年修繕に100万円掛かるか。

問 ふるさと交流センター地下通路内壁整備で大パネル6枚と小パネル

20枚とあるが、現在壁のペイントが剥がれており、その反省からパネルに変えると思うが絵柄など想定しているか。

答 大パネルは縦1.2m×横2.4mで大きい。業者と話した時は、彫刻や桜の写真など提案があったが、まだ決めていない。町内の景色やイベント風景や季節ごとに変えることも可能であるので検討したい。小パネルは、イベントポスターサイズなので、さくらまつりなどを中心に掲示していきたい。

か4倍なのかと議論の中で400万円で落ち着いた。

問 公衆無線LANの環境整備委託について、防災拠点9カ所に31年度設置とあるが仕様について詳しく伺いたい。

答 役場1階と2階各2カ所に機器を設置しフロアの大半をカバーすることを想定。公民館2カ所・診療所と健康センター2カ所・体育館と義務教育学校各2カ所・駅と定住促進センターとゆうゆうは各1カ所・国花苑で2カ所設置しアクセスポイントから約100mまで、1度に200台接続可能。

者がいなく、8月から社協に委託し包括化推進員を配置して相談業務を行っているが、社協単独で解決できない問題があるため、多機関協働の町・包括支援センター・健康センター、その他（農業法人や民間企業、県、各福祉団体、婦人会の代表者）に集まってもらい、事案に対して何が必要か考え町全体で問題解決の対策を講じるもの。

町民課

問 多機関の協働による包括的支援体制構築事業委託で1,470万円予算計上しているが、どのような事業か。

答 総合相談窓口とし、いろんな相談事を1カ所で請負う事を町で計画。町に専門員の資格を持つ

問 妊婦健康診査費補助金の助成はどのようになっているか。

答 町としては、18回分の妊婦健診の受診券を配布している。通常の検診16回分、がん検診1回分、産後検診1回分である。

壁にパネル 大6枚 小20枚 設置どう変わる



さくら駅地下通路内壁画

町の新たな取組み

問 平成31年度は、「み
 なくなる」でどのようなイ
 ベントを実施予定か。

答 子育て支援としてわ
 いわい広場を月・木・金
 の週3回開催し保育士が
 常駐している。来年度は
 多世代を意識しながら運
 営し、地域の方々に参加
 してもらえようようにイベ
 ントの企画をしていきた
 い。

問 昨年は、消防服購入
 の助成があり買換えした
 が、すべての買換えとな
 っていない。平成31年
 度は購入するか。

答 30年度は宝くじ助成
 で購入費用に充てていた
 が、連続での助成は受け
 られないので、平成32年
 度にもう一度申請し残り
 の消防服を購入予定であ
 る。

産業課

問 31年度のさくらまつ
 りのイベントの具体案
 は。

答 4月29日中学校野球
 大会、メインは5月3
 日・4日の2日間でイベ
 ントを集中させる。3日
 はフリーマーケット、大
 道芸人のパフォーマンス
 ス、お茶会、歌と踊りの
 集い。4日は湖東消防イ
 ベント、ヤートセ、お茶
 会、生バンドによる演奏、
 打上げ花火。

問 さくらまつりの花火
 の協賛金を募るとあるが、
 どの程度の金額を見込み
 何発打上げる予定か。

答 70社から100万円
 の協賛金を目標としてい
 る。協賛金の額により打
 上げ数は変動する。基本
 の打上げ数は30年度と同
 じである。

問 栗園再生作業委託費
 が前年比で減っているの
 はなぜか。

答 30年度は若木を15本
 定植したが、31年度の定
 植数が5本のため減少し
 た。

問 消雪剤を年度で何袋
 購入して、年度内ですべ
 て使い切ってるか。

答 例年450袋購入
 し、全町散布1回あたり
 30袋使用する。30年度は
 若干残る。

問 水道水の残留塩素濃
 度は適正か。下流の今戸
 で0.6の数値が出た事
 があるが上流だともっと
 濃度が高いのでは。

答 残留塩素濃度の基準
 値は0.1以上1mm以下
 で、給食センターと役場
 で毎日計測しており基準
 内である。時期によつて
 は若干の濃度の変動はあ
 るが、塩素濃度が過剰に
 ならないよう努める。

教育委員会

問 ウインタースポーツ
 奨励事業補助金がなくな
 るので事業を止めるとの
 ことだが、児童の評判は
 どうだったのか、補助金
 がなければ止めるのか。

答 県事業で、モデルと
 して井川小が依頼を受け
 2年間実施した。もう1
 年実施のお願いをしたが
 受入れられなかった。児
 童、保護者からは好評で
 継続してほしいとの声があ
 った。学校からの存続
 の要望はないが、今後の
 状況を見ながら進めてい
 きたい。

問 学校応援協議会委員
 報酬について、地域と共
 同で運営するという目標
 の割に小規模な予算計上
 であると感じたが、どの
 ような事業をするかとい
 う肉付けが必要だ。

答 初年度は控えめなス
 タートとし委員報酬のみ
 計上した。約10名の委員
 を選任し、保護者や各団
 体の方々など広く町民に
 来ていただく予定だ。協
 議会では、どのような運
 営をするかという議論か
 ら始めた。

問 環境センター管理費
 の修繕で大集会室の電球
 交換とあるが、他に高齢
 化等で不便を感じている
 駐車場の整備などを検討
 したか。

答 予算要求で駐車場整
 備、センター事務室の冷
 房設備の更新など、外部
 から見ても更新時期と思
 われるものに関して見積
 もりを取って予算要求し
 た。しかし、全体的な計
 画の中で可能・不可能を
 区分けした。更新や整備
 しなければいけないもの
 は前向きに検討する。

駐車場スペース早急な対応を



環境センター駐車スペース

美味しい水

石井 茂 松くい虫の防除薬剤について、ネオニコチノイド系の薬剤を使用しないか、もしくは控える考えはないか。

町長 ミツバチなどに被害があるなどの情報は承知している。実施にあたり薬剤の安全性について内部で再度検討し実施したい。

石井 茂 航空防除の薬剤にもネオニコチノイド系の薬剤が使用されていると聞いている。代わりとなる薬剤も販売されていると聞くので議論して欲しい。

町長 航空防除の実施にあたっては協議会の中で議論していく。

浅野義幸 水道の塩素濃度について、塩素臭により水が美味しくないと



より安全な薬剤の使用を

いった声が聞こえる。給食調理場へ塩素濃度を合わせる

は、高濃度になるのではないか。給食調理場へ塩素を安定させる機器の設置を検討したらどうか。

町長 水道水の塩素濃度については、水道水の管理確認、また給食調理場への機器の設置も視野

に入れて対処したい。

湊 文博 町長の施政方針の中で、若者・子育て世代の定住に向けた住宅整備に取り組むとあるが、どのようなものを考えているか。

町長 町営住宅の解体について予算化しており、その先の話しはまだ

具体的に説明できるものではない。補助を活用した町営住宅を整備するか、民間事業者を活用する手法もあるので今後検討していく。

遠藤政勝 基金の活用について。町の特産品の開発などにはそれなりに財源が必要と思うが、ふるさと創生基金やふるさとづくり基金についてはその目的を考えれば、特産品開発や町のPRに活用できると思う、この活用についての考えは。

町長 特産品開発や町のPRについては、少しずつではあるが取組を進めているところ。その財源についてはまずは通常の歳入で捻出、財源が足りなければ基金の取り崩しを行う、現在の事業規模が大きくないため基金

を取り崩すところまで行っていない、今後の基金の活用については考えていく。

湊 文博 空家対策について、31年度より空家バンク開設とあるがどのような対策、補助等考えているか。

町長 現在は調査の段階、空家の個数は145個あるがどの程度使えるのか、リフォーム等必要な町内の不動産業者の協力を得て調査中。

遠藤政勝 当初予算の町内振興費について、現状維持とのことだが町内に依頼の募金、寄付などの支払いに町内振興費を充てている町内も多いので増額できないか。

町長 町内振興費の増額は今のところ検討して

未来に のこそう

井川の

いない。募金や寄付に町内振興費を充てるというのでは違うのではないか。町内会の個別の活動には、自主防災組織の補助など支援はしており今後も具体的な活動については支援していきたい。

湊 文博 町の循環器健診において、65歳未満の健診率50%以上と目標を掲げているが、平成29年度が34%、平成30年度が33%と下がっている。

今年度も申込書が配布されているが目標達成のためのPR、熱意が感じられない。この辺どう考えているか。

町長 設定した目標はなかなか達成が難しいことを承知で設定したもので実際には40%程度が可能な数値であったが、県が健康寿命日本一という

大きな目標を掲げたことで当町も大きな目標とした。昨年度より夜間健診、今年度からは託児対応するなど受診率を上げるための施策をしている。2月に健康管理指導委員会があり健診内容や対策について協議され、そこから申込書を配布されるまでの期間が短いこともあり周知が不十分な点もある。今後は対応を協議してPRに努めたい。

浅野義幸 こどもセンターにだけ栄養士の配置が無い。職員の中でも栄養士資格を持っている者がいると聞いているが、給食を提供する施設には職員を配置するべきと考えるがどうか。

町長 管理栄養士資格のある職員は3名いるが、役場全体の職員採用



適切な栄養管理体制は

を実施しているものの退職者等もあり相対的に増えていない状況にあり専属の配置は難しい状況である。現在子ども・子育て班に事務担当兼務で配置している。

見ることが出来るようだが、卒園された保護者のIDはどうしているのか、そのまま見ることが出来るか。

町長 入園したときにIDを発行し卒園まで見ることが出来る、卒園と同時にその保護者のIDは削除しておりその後は見ることが出来ない。

湊 文博 こどもセンターのライブカメラ、IDの発行により保護者が

石井 茂 防犯面などを考え、町の公用車にドライブレコーダーを設置してはどうか。全車には思わないが、特に頻繁に使用する車については設置してみてもいいと思うが。

町長 前向きに検討する。

白川雅孝 敬老の祝い品の中で鳩杖があるが、日常役立つものではないので別の物を考えてはどうか。

町長 8と10との掛け合わせで鳩、で鳩杖をさしあげております。あくまで80歳の記念の品で差し上げているものです。なかなかそれに代わるものが見つかからない状況なので妙案があればご教示願いたい。

こんなことを審議した

常任委員会質疑

主な内容を掲載

総務課

問 診療所医師の体調が優れない中、今後も定年を引き上げて勤務をお願いするか。

答 伊藤先生は2月25日復帰し、4月以降も続けて診療する意思があるということである。それを踏まえて定年に関する条例の承認を判断する必要がある。

問 町内の電気代・水道代に関して、町の支援総額・種類と各町内の負担割合について確認したい。交渉能力のある町内では、街灯の町管轄割合が多いのではないか。

答 町内集会施設費としては、光熱水費、保険費、下水道使用料、修繕費等となっている。町内振興費としては、光熱水費、街灯の設置工事、更

新工事となっている。また、災害用屋外発電機の設置についても支援している。

街灯に関しては、場所の影響範囲から町が持つか町内が持つかを決めている。

教育委員会

問 スクールバスの運行費271万円減額は、地方債の減額450万円と関係があるか。

答 関係がある。バス取得費の減額が確定したので予算財源の地方債を減額した。

問 資料館は現在の場所では利便性が悪く、来館人数が少ないのに管理費はかかる。旧小学校に移すことで解決出来るのか。

答 資料館の今年度4月から2月の来館数は119人で、特別展の開催により前年度比65人増

であった。指摘の件は、文化財保護委員会や教育委員会でも議論している。

産業課

問 井川町中小企業振興融資幹旋に関する条例の改正において第一条中、「中小企業」に加え、「小規模企業者」、「創業者」も明文化されたが、これらはすべて中小企業に含まれるのではないか。

答 それぞれ融資の利率と保証率が異なるため、今回定めた。

問 プレミアム商品券事業費の中身と金額について

答 国から県、県から市町村に対しての説明には不透明な部分がある。補正額についてスキームは臨時福祉給付金と同様であり、その実績をもとに国から示された目安額である。

問 今年は暖冬であり、3月からは雪のない状態であったが、国花苑にはロープが張られている。遊具使用について、臨機応変に対応出来ないか。

答 3月上旬頃にロープは外しているが、4月1日の開園は規則で決まっているため、正式な開園は4月1日となる。

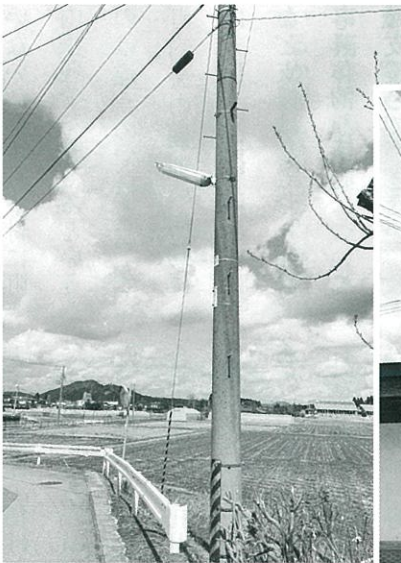
町民課

問 診療所で往診のための車を購入したが、利用実績は。

答 患者数は月2、3人程度であるが、こどもセンターや義務教育学校の定期健診にも利用している。

問 診療日数は週2回に減っているが、薬の処方には間に合っているか。医師不在でも処方されているか。(3月現在)

答 薬の処方では診療日のみであり、その際には処方数を多くしている。



町内会管理の街灯 (左)
町管理の街灯 (右)



4人の議員 一般質問

定例会初日に一般質問が行われ、4人の議員が町政について質問した。質問順に掲載する。

P10	石井 茂 議員 <ol style="list-style-type: none"> 1 自衛官募集事務について 2 町営住宅について 3 産業・文化祭について
P11	遠藤 政勝 議員 <ol style="list-style-type: none"> 1 人口減少対策について 2 役場の機構整備について
P12	伊藤 俊郎 議員 <ol style="list-style-type: none"> 1 コミュニティ・スクールについて 2 栗園の管理体制について 3 井川さくら駅のイルミネーション点灯について
P13	佐々木 昌子 議員 <ol style="list-style-type: none"> 1 インフォメーションスタッフの配置について

☐ 抜きの数字は掲載された質問です。それ以外は紙面の都合により掲載できませんでした。なお、掲載できなかった質問については議会議事録で見ることができます。

◆一般質問とは◆

一般質問は、町の行政全般（一般事務）に関し、執行者所見や疑義について質問できるものである。

質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制を採用し、事前に質問内容を通告することとしている。

井川町では、質問時間は、1人につき30分以内で完了することとされている。

再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば再々質問までとされている。

一般質問

自衛官募集 どうなっているか

抽出して閲覧



いしげり
石井 茂
議員

石井

多くの地方自治から自衛官募集への協力が得られていないため、憲法に自衛隊を明記する必要があると主張した安倍首相の発言が波紋を広げている。「秋田さきがけ」でも2回に渡り報道された。

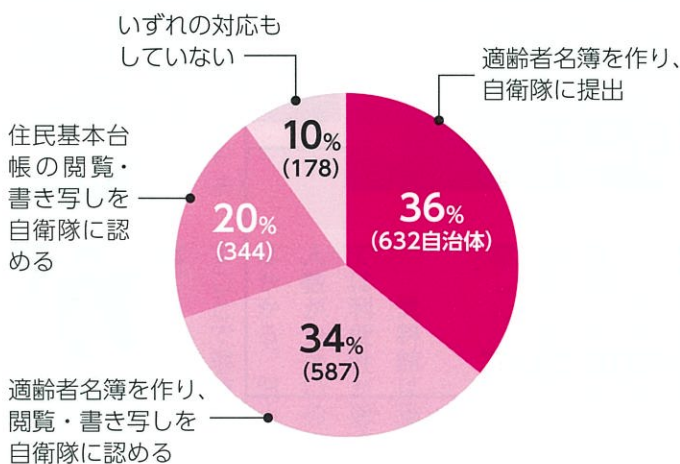
防衛大臣から協力要請文が町にきているらしいが、町として自衛官募集事務の対応はどうなっているか。今後どうするか。

町長

政令で定める処により事務を行っている。公報への記載、庁舎内にポスターやパンフレットを設置している。

自衛官募集

地方自治体の対応



※2017年度、防衛省調べ全1741市区町村

町長

違いというよりも、抽出せず全部

石井 該当者を抽出した名簿を制作し閲覧させる事と、抽出していない物を閲覧させることの違いはなにか。

然るべき形で閲覧の要請があり、該当者を抽出し閲覧させている。今後とも変わらない。

石井

該当者若しくは保護者に対し事前に同意を得ているか。事後の報告は行っているか。

町長

法令に基づいて行っている。同意を得ることも報告も行っていない。

閲覧させる事への懸念がある。

町営住宅の今後の姿は 若年層をターゲットに

石井

現在町には95戸の町営住宅があり、街道団地に78人、さくら駅団地に66人など計247人の方が生活している。人口減少対策として大きな成果を上げている。

しかし、昭和60年建設で33年経過したものが12戸。63年建て30年経過したものが5戸など、築30年を経過したものが27戸ある。

町長

耐用年数を経過した町営住宅が27戸有ることに関しては問題意識を持っている。空屋になった時点で募集を中止し、順次解体ということになるのではと考える。

解体後の活用方法については今後検討していく。施政方針でも述べたが、若年層をターゲットにした定住対策を取らねばという根本的な考えを持っている。

耐用年数が過ぎたから全部ダメとは言わないが、解体・改修を含め抜本的対策が必要だ。以前、若者・子育て世帯向けの町営住宅建設をと提案したが、実行してはどうか。

これも質問

「産業・文化祭について」を質問した。



えんどう まさかず
遠藤 政勝
議員

人口減少対策は まちづくりを勘案し、長期的に展開

遠藤 町の人口ビジョンでは2060年には、諸々の施策の効果で、推計人口は3,082人になると予想されるが、この改善策は何か。

町長 1、社会減の抑制。若者の転出の抑制、地域に雇用の場が必要、居住環境整備の施策の展開。2、自然減の抑制。出産と子育て支援の充実、出生率の改善。3、総合戦略は、地域の産業、仕事づくり・安心、子育て環境づくり・健康で住みよいまちづくりを、総合的に長期的にみて施策を展開する。

遠藤 町営住宅も老朽化が進んでいるが、補助事業による大規模改

修は可能か。

町長 補助事業の対象にはならない。一般財源での改修は1棟あたり600万円はかかる。補助事業では若年層のターゲットを絞ることが出来ない。解体を含め検討をする。

遠藤 住環境の整備により魅力あるまちづくりを目指せば若者の定住促進につながるのではないか。

町長 町単独では予算計上はしていないが、県の子育事業のリフォーム、移住新規支援事業等で町も上のせをする整備を活用する。

遠藤 住宅用地の確保、商工業振興の面から、農業振興計画の変更は必要でないか。

町長 農業振興計画の見直しはその都度実施してきている。この後の総合振興計画の際に検討していく。

役場の機構整備は すぐには出来ない、少しずつ



農振変更後のさくら駅前駐車場

遠藤 役場の機構整備は町長の施策を展開する一つの姿勢と思うが、3課体制は少なすぎる。

町長 31年度中の組織の再編はないが、組織内の調整は必要。限られた人数では少しずつ変えながら対応していきたい。

遠藤 職員の雇用状況が厳しいとすれ

ば、再任用制度の導入状況はどうなっているか。

町長 31年度から再任用制度を導入する。希望する職員もいるので採用する。

遠藤 町民が窓口に来た際には、明るく声をかけてほしい。できれば総合窓口の設置はどうか。

町長 総合窓口の設置は難しい。

遠藤 職員教育の充実を。

町長 職員の研修には15人程派遣している。町民に対する対応のしかた等、社会人としてのレベルアップを目指している。井川町を知る勉強にも配慮したい。



一般質問



伊藤 俊郎 議員
とうしろう 俊郎 議員

学校応援協議会の取り組みは 年4回の協議会実施で対応

教員 推進状況は全国で5、432校で14・7%、秋田県では、60校で15・8%である。全国の義務教育学校では、82校中39校が導入している。井川町でも、設

伊藤 町ではコミュニティ・スクールに取組むとのことだが、現在、全国あるいは秋田県の推進状況はどうなっているか。
また、メリット、デメリットにはどんなのがあるか。今後は、学校評議員制度や教職員の任用等いろいろな問題が出てくると思うが、どのように進めるつもりか伺う。



どうなる学校応援協議会

置をめざして準備を進めている。
導入のメリット
・保護者や住民が、互いに責任をもって子供に携わることができる。
・校長などが異動しても、協議会があることで連携体制がそのまま維持でき、接続可能になる。
導入のデメリット
・学校評議員制度やボランティア活動などの制度が重複している。
・学校業務が増える。
・役割が良くわからない。

今後は学校評議員会を解消し、学校応援協議会が評価を行うよう規則を検討してきた。また、年4回の協議会開催にむけて準備し、町民の皆様にも広報等で周知を図り、保護者や町民の意見が協議会に反映されるよう啓発に努める。

町長 2年目の栗の収穫量は約20kgであり、収穫出来るまでは今後3～4年以上必要。栽培管理者を公募しても簡単にはみつからないのが現状である。栗の剪定作業は、今後も赤倉農

伊藤 栗園の栽培管理は、3年間赤倉農園に委託する予定、その後の管理はどうするか。栗の販売は収穫状況を見ながら行うとのことだが、町の特産品づくりのために、栗栽培者を募りながら、栽培者には、苗木を無料で提供するか、補助金制度を設けながら、全町あげて特産品づくりに取り組むべきと考えるが、町長の考えは。

栗園管理・特産品どうなる 3～4年後の収穫状況で

これも質問
「井川さくら駅のイルミネーション点灯について」を質問した。

園にお願いすると思う。町をあげての栗栽培は考えていない。栗は国花苑の観光資源として、何かできないかと考えているが、収穫量も少なく、品質確保もあり、現時点では時期尚早と考える。なお、31年度は、管理体制や販売方法、取引等を検討していく時期であると考え。

インフォメーションスタッフの配置を 不快にならない対応する



さききしょうこ
佐々木 昌子
議員

佐々木

庁内に、インフォメーションスタッフ

の配置をしてはどうか。全ての利用者が、的確に用件先を見出せない場面があり、正面玄関を入ってすぐに、一番近い窓口に聞き正してしまいがちである。問う側も問われる側も時間のロスになり得るとともに、不快な場面も発生しかねないこともある。

その解決策として、「案内係」インフォメーションスタッフの配置を考えた

みてはどうか。来庁さ

れる全ての方々に、まず元気な笑顔で用件を聞いてくれるスタッフがいる

と必然と明るい雰囲気生まれ、フロア全体に広がると思われる。こうした措置が円滑な業務の遂行にも繋がっていくと考えられるがどうか。

町長

窓口サービスの向上というものを整理し、来庁者の視点で考えた場合、五つの課題に分けられる。

一、目的に則した窓口手続きの明確化。

二、窓口手続きにおける付加の軽減。

三、来庁困難な方の対応をどうするか。

四、業務の効率化をどのように図るか。

五、業務の圧縮をどのように図るか。



スムーズな窓口対応を

解決手法としては、今後窓口関連業務体制の再編をする。業務の外部委託や情報通信技術の活用、来庁不要申請手続き体制の構築をどう考えていくか、課題の整理と解

決方法を分けることが大前提。窓口対応というのは住民サービスでは大事なことである。職員の対応の改善をしっかりと考えていく。案内をしっかりと行う

ことでインフォメーションスタッフの役割を果たせる。不快にならない様な対応をするのが役目でもある。笑顔で明るい雰囲気を作り出すように全体として努力していきたい。

条例改正・同意・諮問・選挙

3月議会に上程された議案は、条例改正5件、同意4件、諮問1件、選挙1件を本会議では原案どおり可決した。

議案5件は、全員一致可決

議案第1号

◆井川町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

診療所に勤務する医師の定年を改める必要があるための改正

医師の定年 71歳↓72歳

議案第2号

◆井川町国民健康保険事業財政調整基金条例の一部を改正する条例

平成30年度から実施されている国民健康保険制度の見直しに伴う所要の改正

設置の第一条に「給付費の急激な増加及び災害により、国民健康保険税の増徴等の困難なときの財源を積み立てる」を「健全な財政運営に資する」に

改める。

処分の第6条の「医療費の急激な増加により、財源が著しく不足する場合において、当該不足額をうめるための財源」を「国民健康保険法第57条中の規定による国民健康保険事業費納付金の納付及び保険給付に要する費用に不足が生じ、この費用に」改める。

議案第3号

◆井川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴う所要の改正。

職員第10条中、「学校教育法の規定により、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校又は中等教育学

校の教諭となる資格を有する者」を「教育職員免許法第4条に規定する免許状を有する者」に改正。

又同条中の「卒業した者」の次に、「5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者であつて、町長が適当と認めたもの」を加える改正。

議案第4号

◆井川町介護保険条例の一部を改正する条例

消費税率の引き上げによる低所得者の介護保険料軽減強化の完全実施に伴い、当該軽減対象者の保険料額について、所要の改正。

保険料率第8条中の、平成31年度から平成32年度までの各年度における保険料率は、同項の規定にかかわらず、3万5,550円とする。」に改め、また、2項中この3万5,550円を5万9,250円と読み替える。
第2項中「3万5,550円」とあるのは、「6万8,730円」と読み替える改正。

議案第5号

◆井川町中小企業振興融資斡旋に関する条例の一部を改正する条例

井川町の中小企業振興融資斡旋の対象者に、新たに創業者を追加するため所要の改正。

目的第1条中の「中小企業者」の次に「小規模企業者及び創業者」を加える。この条例において「創業者」とは、中小企業者又は小規模企業者であつて産業競争力強化法第2条第20項第1号から第4号まで掲げる者をいう。

選挙1号

●秋田県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

秋田県後期高齢者医療広域連合規約第9条等3項の規定により、広域連合議会議員1名の選挙を行うものとする。

指名推薦とする。

当選者

井川町赤沢

齋藤多聞

同意第4号（全員一致）

井川町固定資産評価員の職務を町長が行うこと。

表彰

全国町村議会議長会表彰(自治功労者表彰)

石井 茂 議員
(議員在職15年以上)



2月13日県市町村会館で行われた平成30年度自治功労者表彰式で永年議会議員として町勢振興発展と住民福祉の向上に尽くされた功績により本町議会から石井議員が表彰されました。



1月29日告示された井川町議会議員補欠選挙で無投票で佐々木昌子さんが初当選されました。

井川町井内

議会所属…教育民生常任委員会

人事案件

同意1号(全員一致)

固定資産評価審査委員会委員選任

再任 工藤 貞彦氏
(大麥町内)

諮問1号(全員一致)

人権擁護委員の推薦

再任 伊藤 孝子氏
(宇治木町内)

同意2号(全員一致)

監査委員の選任

新任 藤田 馨氏
(街道町内)



前任者の任期満了による

同意第3号(全員一致)

農業委員会委員の選任

- 伊藤與四春氏(今戸町内)
- 小林 長美氏(寺沢町内)
- 鷲谷 利和氏(海老沢町内)
- 遠藤新榮治氏(今戸町内)
- 遠藤 民雄氏(小今戸町内)
- 櫻庭 新一氏(羽立町内)
- 湊 たつ子氏(大倉町内)
- 板垣 順子氏(羽立町内)
- 遠藤喜代美氏(小今戸町内)

陳情

3月議会に陳情4件が上程され、3件を採択、1件は継続審査とした。採択された陳情は関係機関に意見書を提出した。

採択……………全員一致

◎消費税の増税中止を求める陳情

秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 洪 谷 一
秋田県労働組合総連合
議長 三浦 宣人

◎最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情

秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 洪 谷 一
秋田県労働組合総連合
議長 三浦 宣人

◎幼児教育・保育の無償化、待機児童解消、保育士の処遇改善のための必要な措置を国に求める陳情

秋田ほいくを考える会
代表 伊藤 博和
秋田県社会保障推進協議会
会長 渡辺 淳

継続審査

◎全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書

私の

少子高齢化に思う



田中町内会長

半田 智

幼少期の田中、一世帯の構成は三世帯同居に子供は三人位が普通だった。自分の同期は九人（ちなみに今年の小学一年生は全町でも十五人程という）。遊びは町内にあるお宮の境内。当時は毎日、上級生、下級生が羽立や新屋敷からも大勢集まり三角ベース野球、缶けり遊び（鬼ごっこ）、めんこ、ビー玉遊び、釘を地面に刺しての陣取りごっこ、小路での近所の子供らでのチャンバラごっこをして遊んだ。したがって必然的に境内の庭は雑草の生える余地もなかった（今は草茫茫と茂り、子供らの歓声もなくなった）。また、田中の中に日々食する食品や駄菓子等売っているお店が4軒、衣料品店も2軒程あった。老いも若きも今より多く

の人がいて黙っていても活気があった。日本そのものが国全体として景気が上昇傾向にあり、所得も消費も右肩上がりの状況で、誰もが将来に対し希望に満ち溢れていた様に見える。

さて時は変わり今、田中町内においても少子高齢化、核家族化、独居世帯、夫婦二人世帯の増加、そして住人不在の空き家も出現し増えつつある。所謂過疎の到来である。

ついこの前まで、今の田中の状況を想像もしてこなかったし実感も持っていなかった。何はともあれ、今ここに住む住民同士の絆や輪を大切に、互いが日々自助、共助の心をもって前向きに生活していきたいものだ。

議会のうごき

- 1月6日 町消防出初め式（農村環境改善センター）
- 2月9日 井川町合同厄祓・還暦祭（議長）
（農村環境改善センター）
- 2月12日 湖東厚生病院運営委員会（議長）
（グリーンロイヤル丸富）
- 2月19日 秋田県町村電算システム共同事業組合議会定例会（議長）
（県市町村会館）
- 2月22日 第1回議会全員協議会（役場：議場）
南秋田郡町村議会議長連絡協議会（議長）
（役場：第1会議室）
- 2月27日 議長・副議長・議運委員長会議
（役場：正副議長室）
- 2月28日 第1回議会運営委員会（役場：正副議長室）
議会だより編集委員会（以降5回）
- 3月7日～15日 第1回井川町議会定例会
（役場：議場）
- 3月20日 湖東地区行政一部事務組合議会定例会
（湖東消防署）
- 3月22日 八郎湖周辺清掃事務組合定例議会
（クリーンセンター）
八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会定例会
（八郎潟町役場）
- 3月28日 井川町・潟上市共有財産管理組合議会定例会
（役場：大会議室）

議会事務局 人事

議会運営を担当しておりました菅生チヨミ事務局長が定年退職となり、後任に鷲谷仁美事務局長（前町民課課長補佐）が4月1日付で着任いたしました。

編集後記

この3月は例年にも増して感慨深さがありました。平成最後の議会において活発な議論を交わし、義務教育学校初の卒業生を無事送り出すことも出来ました。
新たな元号も発表となり、町民皆様方は今後一層町の展開に期待され、希望を抱かれています。私自身、町の象徴である桜と共に、次々に花開く町づくりを心の中にイメージしています。引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

（湊 文博 記）

発行責任者	藤田 俊悦
委員長	湊 文博
副委員長	松田 弘咲
委員	浅野 義幸
委員	伊藤 俊郎
委員	遠藤 政勝
委員	渡部 豪士

印刷／株八郎潟印刷